

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・例年に比べ、予約の間際化が顕著になってきており、まだまだ先行きがかめない状況であるものの、4月の受注数が、前年同期を若干ではあるが上回ってきている。旅行手控えは続くものの、低価格商品等による集客増加が見込まれるため、緩やかに回復すると予測する。また各種イベント開催での観光客増が見込まれる。
	変わらない	通信会社（サービス担当）	・各キャリアが多様なサービスを出してくると予測される。
		百貨店（営業担当）	・消費を回復に向かわせるような材料に乏しい。むしろ前年度の企業業績の悪化による人件費の抑制などが家計支出の縮小につながり、更に消費に悪影響を与えないかが気になる。
		スーパー（販売企画担当）	・観光客の減少、公共工事、失業率など不安な材料が多くあり、これでは消費者の財布のひもは緩まない。
		コンビニ（経営者）	・来客数増加の材料が見当たらない。
		コンビニ（エリア担当）	・前年比3%前後の来客数減少傾向はしばらく続く。来客数減が売上減に直結するため、夏場までの売上は厳しい。
		コンビニ（エリア担当）	・現在、景気は底止まりしているように感じられる。これ以上低迷することは無いが、すぐに上昇に転じるとも考えにくい。
		衣料品専門店（経営者）	・前々年からの悪化の流れもやっと落ち着いてきた感じで、悪いまま推移している。1点単価、客単価共に悪いまま回復する様子が無い。
		観光型ホテル（総支配人）	・回復基調にはあるが、客単価及びバンケット需要は伸びず、収益的には厳しい状況が続く。
	通信会社（店長）	・今のところは景気回復の要素が無く、現在の状態が続く。以前のように1年で新しいものを買換えるのではなく、今使っているものをできるだけ長く使うという傾向があり、購入頻度が減っている。	
	観光名所（職員）	・大手自動車メーカーのリコール問題と、生産台数の下方修正等、経済の回復する様子が見えない。旅行環境は、当面厳しい状況で推移する。沖縄観光も、厳しい状況が続く。	
	やや悪くなる	スーパー（企画担当）	・1点単価の落ち込みが依然続いている。競合他社との価格競争など、単価アップの要素が見つからず厳しい状況が続く。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・商品や販売方法など、新しいシステムを構築していかないと売上の増加は期待できない。さらにオリジナルの商品開発等には、地域活性化の資金や助成金などの活用も検討したい。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・本という形態での発信が徐々にネットでの配信が変わってきており、電子書籍リーダーの開発等に力を入れている企業もある。書店という形態をこれからどう変えていくのが全く見えてこない。
旅行代理店（代表取締役）		・航空会社が旅行会社に対して支払う販売手数料が4月より半減、一部撤廃される。飛行機の必要性が高く、本土とは形態が多少異なる沖縄の旅行会社は、かなり厳しい状況となる。	
悪くなる	ゴルフ場（経営者）	・確実に本土客が減少する見込みである。	
	商店街（代表者）	・近年の景気低迷により、空き店舗が増えてきている。それに伴い、雇用状況も悪化して給料や収入が減っているため、使う金も限られてきているようである。全体的な景気低迷の中では売上の確保は大変難しい状況になっている。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光客も減って、地元客の外食回数も激減している。また、低価格競争、労働環境の改善指導による固定費の増加で、労働集約型の飲食店は生き残りをかけたし烈な生存競争に入っている。
		輸送業（代表者）	・一部の離島では新規の公共工事も散見される。民間の物件も出始めている。
	通信業（営業担当）	・受注の案件は確かにあるので、その内何件かは契約に至ると考えられる。	
変わらない	広告代理店（営業担当）	・個人消費が回復するまでは、企業の設備投資や販促活動が活性化することは望めない状況にある。さらにデフレ景気が続くなかでは、現状の厳しい状況が続くものと推測せざるを得ない。	

		会計事務所（所長）	・景気回復要因は見受けられない。取引の量や金額自体は安定しており、今後増加する材料も無いが、これ以上減少することも無い。
	やや悪くなる	食料品製造業（管理部門） 窯業・土石製品製造業（経営者） 輸送業（営業担当）	・量販店での売上減少とデフレ傾向が進行し、出荷量が悪くなる。 ・新規建設工事の減少が続く見通しである。
		コピーサービス業（営業担当）	・来年度に向け、物流経費削減による受託業務の契約終了が数件出てきている。新規受託もあるが、長年の取引先からの契約解除が目立っており、取引先の台所事情の厳しさがうかがえる。 ・受注量が減少すると見込まれる。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・3、4月はアルバイトの入替わりが多く、顧客の状況を確認する限り、例年どおりいけば求人数の伸びが見込める。
	変わらない	学校 [専門学校]（就職担当）	・県内外の求人数は減少しているものの、新規求人申込や来年度の卒業生向けの求人も少ないながらも届いている。業種や職種にもよるが、プラスマイナスゼロの傾向がある。
	やや悪くなる	職業安定所（職員） 学校 [大学]（就職担当）	・新規学卒者の求人が減少傾向にある。企業内で人材を育てる余裕が無いようだ。 ・企業の求人絞込み傾向は、今後、より顕著になってくる。
	悪くなる	-	-